

# 「辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動」 便り vol. 4

## 10・22 「土木技術者から 見た辺野古ずさん 工事の実態」

大宜味村在住、一級土木施工管理技士の奥間政則さんを台風迫る大阪に迎えて学習会をしました。土木技術と知識を武器に新基地建設のずさんな設計を鋭く指摘し、「土木屋の誇りにかけて、豊かな海を壊し、戦争のための軍事基地はつくらせない」と防衛局を追及しておられます。

学習会は「はあく、ほあく」というもまあ地道に綿密に調べはったなああと終始、感心と驚きの連続だったのですが、聞いている私の思考のスピードがなかなか付いていきませんでした。

それでなんとか、わかったことは、「そもそも辺野古の海底地質は空洞のある琉球石灰岩が多く、埋め立てできる地質ではない。であるのに、その海を埋め立てるためにはまず、グルリと護岸で囲んでしまわねばならない。護岸建設は土台になるケーソン（巨大なコンクリート製の箱）を海底に設置するのだが、巨大なケーソンの仮置き場の海上ヤードの建設には知事の承認が必要。また、辺野古漁港（座り込みテントに隣接している）を埋め立てのためのブロックの製作や仮置き場にしようとしたけど、これは名護市長の権限で止められている。そして、なんと東側護岸には活断層が走っているのが明らかになりつつある」ということでした（とても大雑

把）。

**「大阪行動」は毎週土曜日午後3時半から5時までの1時間半、JR大阪駅前で行ってま**  
**す。**

十月二十一日、二十八日と続けて雨の土曜日でした。やっと晴れた十一月四日の歌う大阪行動女子です。  
沖縄戦を歌った歌『月桃』です。  
編集委員T



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！